

事後評価結果（平成30年度）

担当課：中国地方整備局道路部道路計画課

担当課長名：吉田 真人

事業名	一般国道2号 戸田拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局				
起終点	自：山口県周南市戸田 至：山口県周南市戸田			延長	2.4km				
事業概要									
一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。戸田拡幅は、周南市戸田市内の延長2.4km区間における現道2車線から4車線への道路拡幅事業である。									
事業の目的・必要性									
事業目的は、周南市戸田市内の交通混雑の緩和、安全・安心の確保、交通基盤の確保及び物流の効率化等である。									
事業概要図									
事業の効果等	事業期間	事業化年度 都市計画決定	H15年度 H15年度	用地着手 工事着手	H18年度 H19年度	供用年 (暫定)	(当初) - / H19年度 (実績) - / H25年度	変動	2.2 倍
	事業費	計画時 (暫定)	(名目) - / 約53億円 (実績) - / 約54億円	実績 (暫定)	(名目) - / 約81億円 (実績) - / 約81億円			変動	1.5 倍
	交通量	計画時 (暫定)	- / 47,200 台/日		実績 (暫定)	- / 28,100 台/日		変動	59.5 %
	旅行速度向上	7.3 → 47.6 km/h (供用前現道-当線) (供用前年次 H19年度) (供用後年次 H20年度)			交通事故減少	13.5 → 7.3 件/年 (供用前現道-供用後現道) (供用前年次 H13-22年) (供用後年次 H26-28年)			
	費用対効果 分析結果 (当初)	B/C	2.7	総費用	54億円	総便益	144億円	基準年	
				事業費	45億円	走行時間短縮便益	142億円	H15年	
	維持管理費	9億円	走行経費減少便益	-1億円					
	交通事故減少便益	3億円							
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	1.1	総費用	129億円	総便益	144億円	基準年	
				事業費	110億円	走行時間短縮便益	135億円	H30年	
維持管理費	19億円	走行経費減少便益	8.9億円						
交通事故減少便益	0.68億円								
事業遅延によるコスト増		費用増加額	- 億円	便益減少額	- 億円				
事業遅延の理由									
特になし									

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞損失時間が削減した【削減時間：531千人・時間/年】 ・事業区間の定時性向上により都市間高速バスのルート変更およびバス停留所の新設が行われた <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要港湾徳山下松港へのアクセスが向上した【防府市～徳山下松港：67分⇒50分】 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する日常生活圏中心都市間の所要時間が短縮した【周南市～防府市：65分⇒47分】 <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の整備を見越して道の駅の立地を決定し平成26年度にソレーネ周南が開業した <p>⑤安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区間の死傷事故件数が減少した【減少件数：約6.2件/年】 <p>⑦災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送路である国道2号の信頼性が向上した ・山陽自動車道の代替路線としての機能が向上した <p>⑧地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量が削減した【削減量：約3.7千t/年、1,217.3千t/年⇒1,213.6千t/年】 <p>⑨生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出量が削減した【削減量：約19.8t/年、3,181.3t/年⇒3,161.5t/年】 ・SPM排出量が削減した【削減量：約1.0t/年、159.4t/年⇒158.4t/年】 <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>	<p>他4項目に該当</p>
<p>の事業による環境</p>	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>環境影響評価の対象外事業である。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>	
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口県周南市の人口は平成12年から平成27年まで減少【H12：157千人→H27：145千人】 ・山口県周南市の自動車保有台数は、平成12年から平成27年まで増加【H12：106千台→H27：112千台】 	
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸田拡幅は事業目的に見合った事業効果の発現が確認されており、今後の事後評価の必要はない。 ・戸田拡幅の整備により、交通混雑の緩和、安全・安心の確保、日常生活における利便性の向上など一定の効果が確認できることから、改善措置の必要性はないと考える。 	
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同種事業の計画・調査にあたっては、沿線自治体の目指すべき姿（地域の取組）と整合させ、経済、観光等の関係者から情報収集を行うなど道路整備による多面的な効果の把握に努める必要がある。 ・今後周辺の道路整備が進みネットワークとしての効果も発揮することが期待されるため、引き続き社会経済指標やビッグデータ等データの蓄積に努める。 	
	<p>特記事項</p> <p>特になし</p>	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。